

(3) 地域福祉活動の現状

地域が主体となった場づくりの取組みおよび地域の福祉活動の取組みとして、「地域の茶の間」および「市民力による在宅福祉サービス」の概要を以下に示す。

1) 地域の茶の間

①地域の茶の間の概要

「地域の茶の間」は新潟発の地域福祉活動として、民間による活動を原型に新潟市として平成15年度から取り組んできた地域住民の活動である。

この活動は、自治会や自主的なグループなどを単位として、自宅のお茶の間にいるように自由に過ごせる場所を地域のなかにつくり出そうとするものであり、既存の公的な集会所や民間の空き家などの施設を利用して開設している。

好きな時間に気軽に集まり、お茶飲み話やレクリエーションをすることで、地域に住む高齢者や障がい者が、自宅に閉じこもらないようにするとともに、高齢者と幼児・子供たちとの多世代の交流などが実現できる。

新潟市では、こうした「地域の茶の間」活動が次第に浸透して、平成19年現在で250グループを越えている。また、全国規模の中間支援組織の財団や社団、NPO法人、JA、マスコミの力もあり、現在では、新潟県内ばかりでなく、新潟県発祥の手軽に取り組める地域活動として、全国に広がっている。

②地域の茶の間を開く効果

地域の茶の間により、以下の効果が期待される。

- ・人と人、人と社会とのつながりができる。
- ・お互いの不自由を知り、人への優しさが育ち、自分のできることを知る(障がいに対する理解、心のバリアフリー)。
- ・いざ!という時、困った時に助け合える人間関係が生まれる。
- ・どのような状態の人にも役割がある。
- ・知り合うことで地域に暮らす安心感を育てる。
- ・地域住民が自然に自らのために力(人手、物、知恵、金)を出しあう。
- ・習いもの、趣味、知識、経験が生かせる。
- ・視野の広い子どもに育つ、地域の人から見守られる安心感がある。
- ・子育て中の親の不安や孤独、束縛感の緩和に効果がある。
- ・情報の共有化が一度にできる(防災、防犯、健康相談、制度…)
- ・伝統、文化の伝承が図れる。
- ・外出し、人と会うことは介護予防になる。



写真：地域の茶の間

2) 市民力による在宅福祉サービス

①まごころヘルプ

- ・有償による市民相互の助け合い活動で、助けてもらいやすい、活動しやすい、継続性のある仕組みを創ることを目的として活動している。
- ・ホームヘルプや配食サービスを実施している。

②うちの実家 (図 2-11参照)

- ・街中に増える空き家を借りた生涯現役の場づくり (毎日型・常設型の地域の茶の間)。
- ・生涯現役について「人と人が関わっている限り、人が社会とつながっている限り生涯現役」と定義し、活動を行っている。

③うちの実家の効果

うちの実家により期待されている効果や活用実績は以下のとおりである。

- ・古い民家を借りているため、高齢者等にとっては障害の多い場であるが、逆に参加者同士の優しさが自然に引き出される。
- ・段差だらけや介護機器の不備など、不自由な条件下で、実際の家庭に役立つ介護技術の研修やあるもので代用するなどの智慧・工夫が伝授される。
- ・地域の空洞化を防ぐ (町内会費、側溝掃除、道路掃除、回覧板...)
- ・平成 16 年新潟県中部 7.13 水害時は、要介護高齢者 5 名の 9 日間の避難所として活用された。
- ・平成 16 年新潟県中越地震の際には、川口町の泉水小学校仮設住宅の入居者の気分転換の家として活用された。

うちの実家とは

- ・ うちの実家は、空き家を活用して、「人と人のつながり・人と社会とつながること」で、生涯現役の場づくりをしています。
- ・ あたかく、無条件で迎え入れられ、お互いに話を聞いてもらったり、心も体もゆっくり休めるところ、人のあたたかさを伝えていくところです。
- ・ 愛を根っこにして、困ったら助けたり、助けられたりするところです。
- ・ うちの実家は会員制です。





会員は夢買人(賛助会員)と一般利用会員で成り立っています。

会員になるには	
会員の種類	年会費 <small>(4月から3月までの1年間有効。)</small> <small>(毎年更新となります。)</small>
一般利用会員	2,000円
夢買人 (賛助会員)	2,000円 入会時は10,000円、うち8,000円は、夢を買う寄付となります。

地域の茶の間

ひとりいるのがさびしい・・・
誰かとお茶が飲みたい・・・
誰かと一緒に食事がしたい・・・

※食事は
汁物か煮物、又は、カレーにあたたかいごはんを漬物です。

※お泊りの場合は
・ 随時(予約が必要です。)
・ 時間：夕方6時～翌朝9時
・ 一泊：2,000円
食事は含みません。

古保さんのマッサージ茶の間
金曜日
午前10時～午後3時
いっぱいお話しをしたり、心も体もリラックスタイムです。

表紙のことは南雲益雄さん(85歳)の言葉です。

手づくり茶の間

手づくりの好きな人達のサークル活動です。
第1・2土曜日 午前10時～午後3時
参加費：300円
(うち250円は家賃協力費です)
食事をされる方：実費300円

介護技術Q&A

条件の整っていない在宅での介護の介護方法にお困りの方はご相談下さい。
第4土曜日
予約が必要です。

図 2-11 うちの実家パンフレット

20

2-4 市民アンケート調査

新潟市をモデル都市として、住民力の強化により、災害発生時にも地域の多様な主体が連携して地域活動を行う安全安心なまちづくりに対する意識・ニーズを把握するために市民アンケート調査を実施した。

また、調査その1において、仙台市、浜松市、四日市市（以下、3市とする。）に対して、新潟市と同様の内容のアンケート調査を実施しており、新潟市の市民意識・ニーズ等の特性を把握するために調査結果の比較を行った。3市は自然災害に対して住民が主体となった活動等による取組みが進められている自治体である。

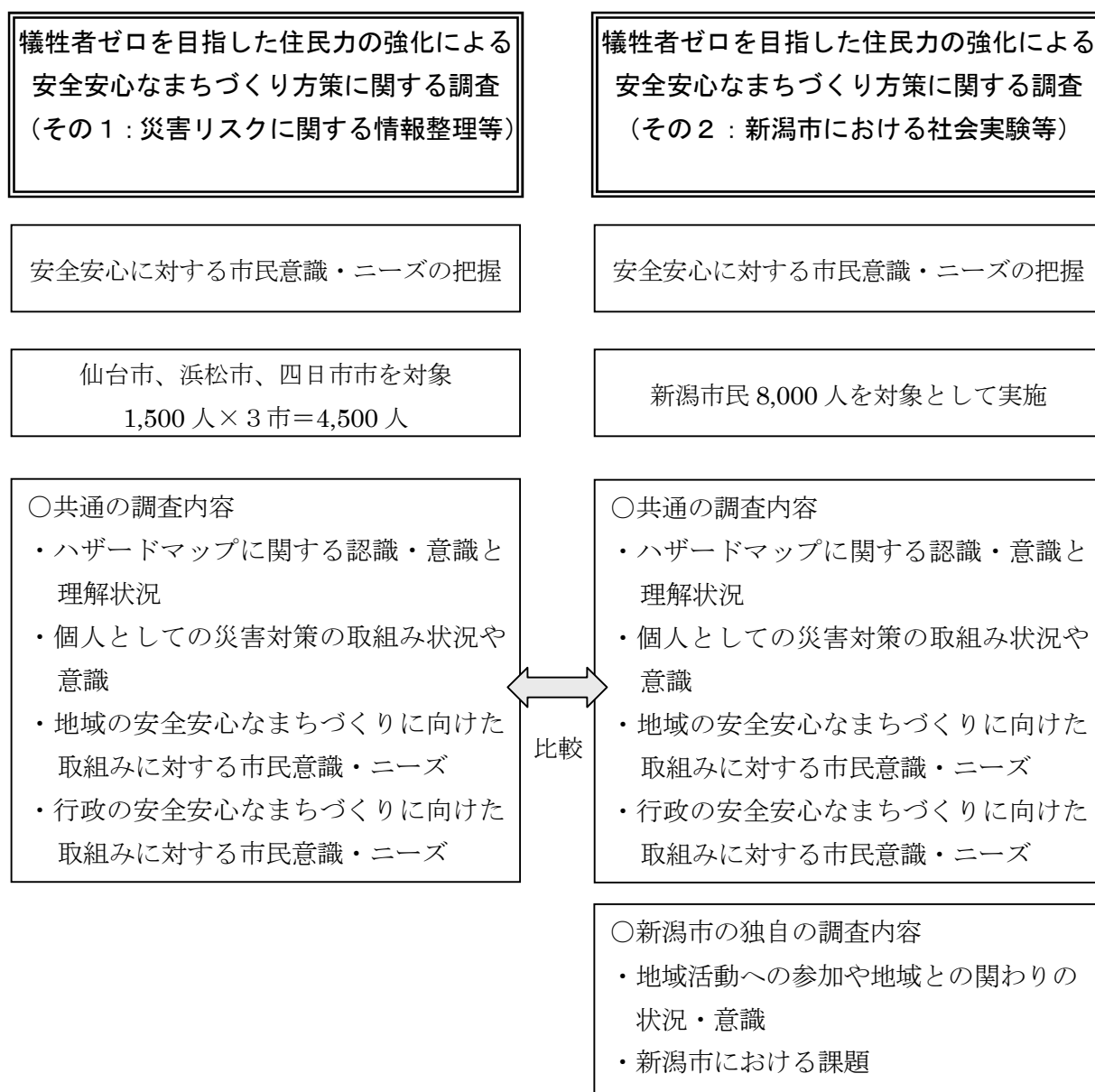


図 2-12 安全安心に対する市民意識・ニーズの調査内容